

## 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	履正社国際医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

### ○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。

シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。

授業計画書の公表方法 <https://www.riseisha.ac.jp/shugaku/>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各授業科目のシラバスに明記

- 定期試験 (100%~70%の配点、レポート課題がある授業に関しては加算する)
- 出席率 (60%を下回るとテスト受験資格がなくなる。)
- 授業中に実施する復習テスト (10%~30%の配点がある教科もある)
- 質問や発言などの積極的な授業態度 (5%程度加点)
- レポート課題の提出 (10%~30%の配点がある教科もある)

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。

最終成績をポイント制にし、優 (3 ポイント)、良 (2 ポイント)、可 (1 ポイント)、不可 (0 ポイント)、出席率を百分率換算しそれらの合計値によって成績分布を把握している。

客観的な指標の算出方法の公表方法 <https://www.riseisha.ac.jp/shugaku/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修のうえ、指定された単位数を修得し、規定の出席率をみたしたものを卒業判定会議の審査にて校長が認定。なお卒業に必要な単位時間数はスポーツ学科（全コース共通）1800 時間、スポーツ外国語学科（昼間部）1740 時間  
鍼灸学科 2685 時間、柔道整復学科 2760 時間、理学療法学科（昼間部）3690 時間、理学療法学科（夜間部）3690 時間とする。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://www.riseisha.ac.jp/shugaku/">https://www.riseisha.ac.jp/shugaku/</a>
----------------------	---